

課題探究応用 評価基準表

科目	授業評価	成果物評価	打って出る評価
課題探究応用	120点/年 評価回数4回 内訳 授業レポート 30点×4 120点	180点/年 評価回数4回 内訳 ①中間報告評価 30点 ②中間発表評価 30点 ③最終発表評価 60点 ④論文・要旨 60点	60点/年 内訳 ①聴講型 15点 ②成果物申し込み型 45点

評価物別授業評価規準表（課題探究応用）

評価物	A	B	C
授業レポート（30点）	課題に対して意欲的・主体的に取り組み、十分な成果を上げている。	課題に対して意欲的・主体的に取り組み、概ね成果を上げている。	課題に対して意欲的・主体的に取り組むことができておらず、成果を上げられていない。
中間報告	今後研究したい内容について研究の専門性を知らない第三者に対しても用語の説明や図説などわかりやすく目的や目標を明確にし説明を行うことができる。	今後研究したい内容に対して、目的や目標を明確にし研究概要の説明を行うことができる。	今後研究したい内容について目的や目標が不明確で研究の概要が伝わりにくい。
中間発表	事前に生徒に提示した、研究目的、リサーチ&クエスチョン、プレゼンテーション内容等の項目ごとの採点基準をもとに評価を行う。		
論文・要旨	必要な構成要素が論文に記されており、体裁の指定も満たしている。また資料の分析に基づき、論理や仮説、実験、考察が飛躍しておらず、整合性をもっている。要旨においては論文より優先順位意識して抜粋を行い研究を知らない第三者に概要が伝わるように意識して作られている。	構成要素が論文に概ね記されており、体裁の指定も概ね満たしている。また仮説、実験、考察が飛躍しておらず、整合性をもっている。要旨においては論文より抜粋し、研究内容が明確である	構成要素が論文に不足しており、体裁の指定も満たしていない箇所が多い。また仮説、実験、考察に飛躍が見られ、煩雑である。要旨においては優先順位をつけて抜粋ができておらず、研究内容が不明確である。
発表会	事前に生徒に提示した、研究目的、リサーチ&クエスチョン、プレゼンテーション内容等の項目ごとの採点基準をもとに評価を行う。		